

5.6 F地域(東山地区)

(1)地域の現状と課題

①東山温泉街のまちなみの保全と居住環境の維持・向上

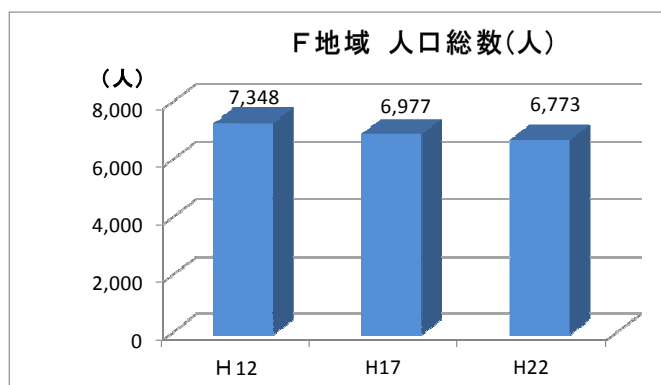
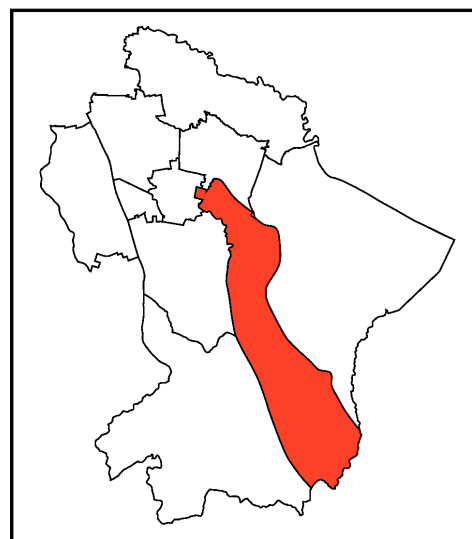
F地域は、本市の丘陵地域の中央を南北に流れる湯川沿いに位置する細長いエリアで、東山温泉や東山ダム、背灸山公園など、市内でも有数の観光資源があります。

東山温泉は、歴史的まちなみが残る情緒ある温泉街となっており、まちなみの保全と居住環境の維持・向上が求められています。

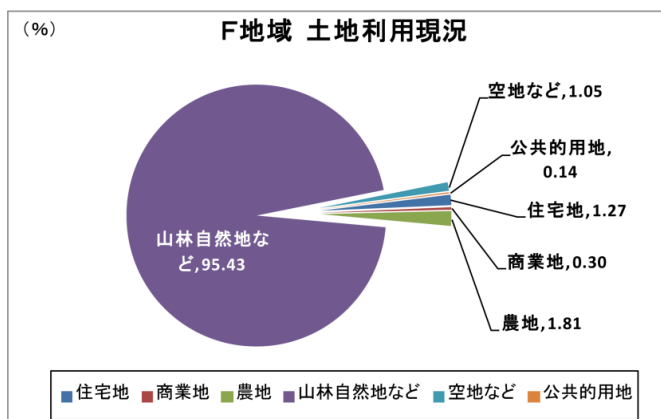
②自然環境の保全と魅力のPRによる観光振興

地域の北側の住宅地を除き、大部分が丘陵地となっており、湯川の渓谷美と山並みの木々が調和し、季節の変化を感じることができます。

こうした自然環境を保全し、その魅力をPRしながら活用を図り、温泉や自然など地域の資源を活かした観光振興が求められます。



出典：国勢調査



出典：都市計画基礎調査

(2)地区別懇談会での意見

F地域は「東山地区」から構成され、地区別懇談会では以下のご意見・ご提案をいただきました。

地区名	主な意見
東山地区	○緑が多く自然が豊かで、学校やスーパーも近く、ゴミステーションも整備されているなど住みやすい環境である。 ○観光資源が多く、観光地となっているが、整備・保全是十分とはいえない。 ○地域のコミュニティ活動が活発であるが、高齢化、少子化等により、その維持が課題となっている。 ○自然災害への対策が図られ、安全性の高いまちであるが、避難所の案内や避難路の整備が不十分である。 ○東山ダム湖周辺の道路など、幅員の狭い道路が多く、危険な箇所が見られる。 ○私道が多く、除雪が課題である。 ○湯川は一部急流の箇所（戸の口堰付近）があり、危険である。 ○公園が不足しているところが見られる。 ○地域内に産業が少ないため、既存の産業の活性化が課題である。 ○公民館利用の拡大、消防団詰所等の整備推進が課題となっている。

(3)地域の将来像

地域の現状と課題、いただいたご意見から、F地域のまちづくりを考える上での「キーワード」として以下のものがあげられます。

これらのキーワードを踏まえ、F地域は、湯川沿いの豊かな自然の中で、東山温泉の活性化と自然を活かした観光のまちを目指すこととし、地域の将来像を設定します。

【キーワード】

○自然環境の保全	○安全・安心な生活環境の確保
○交流の促進	○背灸山公園の活用
	○東山温泉の賑わい

【地域の将来像】



**温泉・歴史、豊かな自然を育みながら、
快適なコミュニティが持続するまちをつくる**

(4)まちづくりの目標

①豊かな自然を活かし、快適な住環境の形成を図りながら、地域交流を推進する

風致地区など自然の保全を基本としながら、自然とのふれあい、レクリエーション、自然体験学習など様々な活用を推進しながら、快適な住環境の形成を図るとともに、市民や観光客など多様な人が交流する場の創出を図ります。

②東山温泉のまちなみを保全する

東山温泉は、歴史的なまちなみを活かし、自然と調和した温泉街の風情を保全するとともに、自然体験等の拠点としての機能の向上を図ります。

(5)地域別方針

1)都市機能の方針

○地域のコミュニティ拠点として、公民館等の機能の充実を図り、地域におけるコミュニティ活動や交流を促進します。

2)土地利用の方針

○住宅地は、低層建物を主体としたゆったり居住ゾーンとして、緑化の推進などにより、住みたいと思える良好な住環境を形成し、近隣商業等との調和を図りながら快適なまちづくりを推進します。

○東山温泉の歴史や背灸山周辺の自然を活かし、滞在して地域の歴史や文化、自然に触れることができる体験ツーリズムの空間づくりを推進します。

3)都市施設の方針

○道路や公園などの都市施設の整備にあたっては、バリアフリーを基本として整備を推進します。

○地域内交通の安全性と快適性を確保するため、歩行者と自転車が分離する人に優しい道路整備を推進します。

○公共下水道の整備や浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上と自然環境への負荷の軽減を図ります。

○東山温泉や東山ダム、背灸山など、歴史や自然を活かした観光ルートづくりを進め、回遊性を高めます。

○幹線道路や、地区内の生活道路について、地域との連携のもと、除雪の充実を図りながら、冬期間における安全な生活環境を推進します。

4)都市環境の方針

- 東山風致地区など、豊かな自然環境や良好な自然景観の保全を図ります。
- 東山温泉においては、温泉情緒が創出されるよう、景観の保全や道路景観整備などを推進します。
- 湯川の河川環境の保全を図り、川沿いの山並みと調和した自然豊かな景観づくりを推進します。
- 史跡会津藩主松平家墓所（院内御廟）は、参道等の整備を推進し、貴重な文化遺産として保全を図りつつ、歴史学習や観光などによる活用を推進します。
- 背灸山に整備される風力発電施設の周辺においては、環境と調和した、憩いや交流のための利活用を図ります。
- 快適で安全な生活環境を保全するため、生活道路の整備や、住民をはじめ地域ぐるみによる防犯灯の設置などを進め、夜間でも安心して暮らせる地域づくりを推進します。

5)都市防災の方針

- 公共施設や学校、公園などを防災施設として活用するとともに、避難路の安全対策を図りながら、災害に強いまちづくりを推進します。
- 住宅地、集落における防災性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断の促進を図るとともに、狭小道路や行止まり道路の解消を推進しながら、新耐震基準以前に建てられた建築物を中心に耐震化を促進していきます。

■F地域(東山地区)方針図

